

	各社の考え方
□ 算定を行う背景・目的	<ul style="list-style-type: none">● サッポロホールディングスは「グループの持続的な発展を支える重要な戦略」のひとつにCSR経営を位置付け、重要事項を特定した「CSR重要課題」の中で、低炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。サプライチェーン排出量を把握することで、環境負荷の全体像を意識した、より効果的な取り組みが可能になると考え算定を行いました。
□ 算定結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none">● サプライチェーン全体の排出量を把握し、低炭素社会実現に向けた、効果的な取り組みの検討に活用しています。● ホームページでの算定結果の公開や、各種調査における情報開示に活用しています。
□ 算定のメリット	<ul style="list-style-type: none">● サプライチェーン全体の排出量の中でインパクトの大きい部分(ホットスポット)を可視化できます。● 外部からの開示要求に対応できるようになります。
□ 社内の算定体制	<ul style="list-style-type: none">● グループCSR部が主管部門となり、関連部門にデータ提供等の協力を得て算定しました。

	各社の考え方
<p>□ サプライチェーン排出量の削減に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サッポロホールディングスは2012年に、サッポログループのCO2排出原単位を2009年比で2015年までに7%削減する目標を制定しています(省エネルギー法による特定事業者および特定荷主が対象範囲)。 ● 当該目標対象範囲は、今回算定したスコープ3及び、従来から算定しているスコープ1、スコープ2を合計した全排出量に対して、約31%に相当することが確認できました。 ● 今後、事業活動の成長戦略に伴い、排出量全体の枠組みや構成比は、拡大・変動していくことが予想されるため、継続的にサプライチェーン排出量全体を把握し、ホットスポットを意識した効果的な排出量削減施策を策定してまいります。
<p>□ サプライチェーン排出量算定の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーン排出量の全体像把握に留まらず、本質的な排出量削減の指標として使用するためには、データの精緻さや算定ロジックの完成度が求められ、作業負荷が格段に大きくなる可能性があります。
<p>□ その他(任意)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来は意識することのなかった、サプライチェーンからの排出量の大きさが可視化されることで、新たな活動や主体間連携の動機が生まれる有意義な取り組みと考えます。 ● 廃棄物の3Rは、循環型社会形成に向けた取り組みに位置付けていましたが、カテゴリ5「事業から出る廃棄物」、カテゴリ12「販売した製品の廃棄」において、低炭素社会実現に向けたメリットについても算定が可能であるため、今後は両面で効果を把握する予定です。

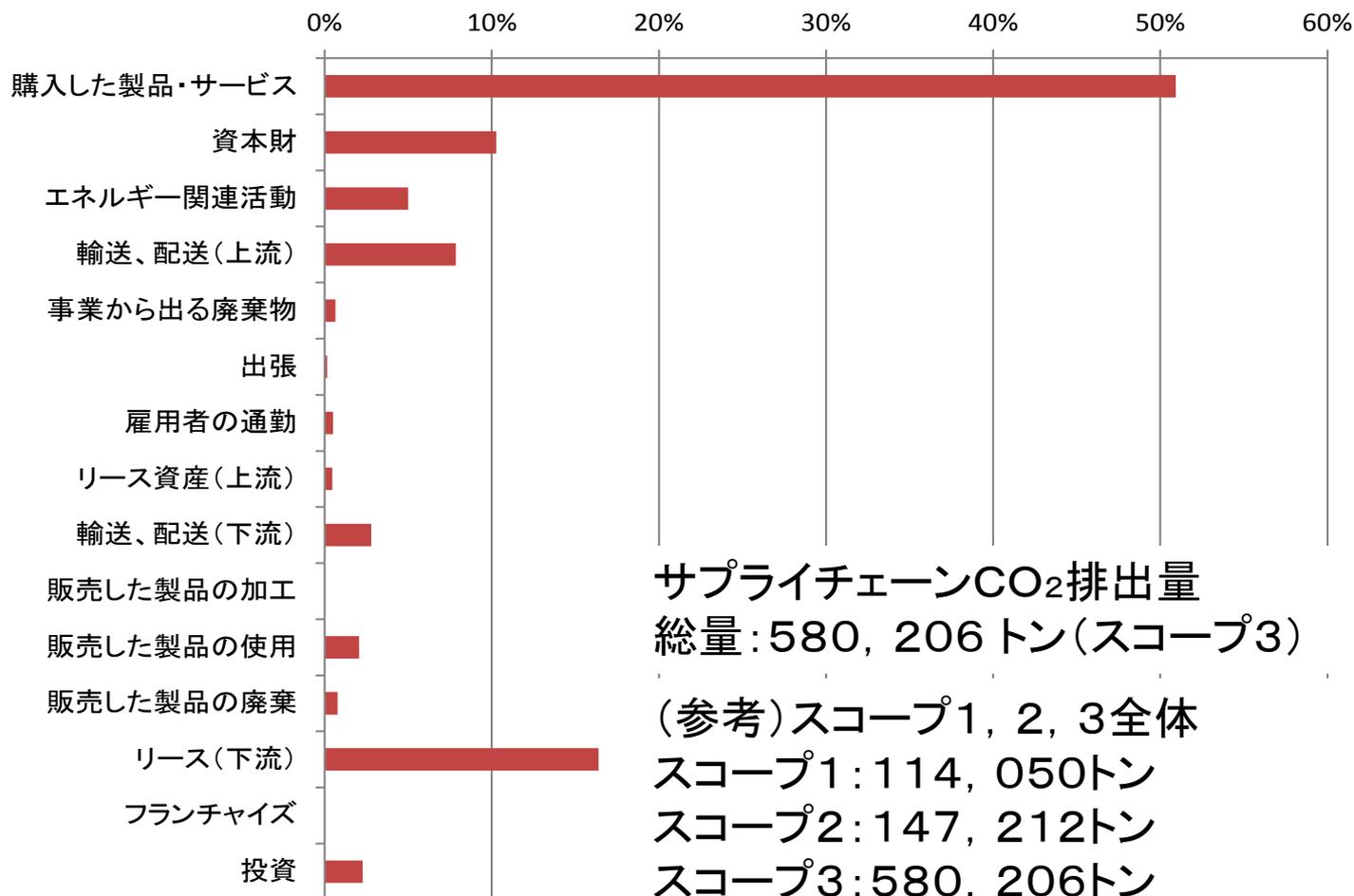
カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 原材料・資材の調達量	● 調達量あたり原単位(CFPDB)
カテゴリ2「資本財」	● 資本財の調達金額	● 資本財の価格あたり原単位(環境省DB)
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	● 電気・蒸気のエネルギー使用量	● エネルギー量あたり原単位(環境省DB)
カテゴリ4「輸送、配送(上流)」	● 荷主分の輸送に係る燃料使用量	● 輸送量あたり原単位(温対法定期報告書)
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 廃棄物種類別排出量	● 廃棄物種類別原単位(環境省DB)
カテゴリ6「出張」	● 従業員数	● 従業員あたり原単位(環境省DB)
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 従業員数	● 従業員あたり原単位(環境省DB)
カテゴリ8「リース資産(上流)」	● 営業車ガソリン使用量	● ガソリン使用量あたり原単位(環境省DB)
カテゴリ9「輸送、配送(下流)」	● 輸送車両軽油使用量	● 軽油使用量あたり原単位(環境省DB)
カテゴリ10「販売した製品の加工」	● 該当なし	● 該当なし
カテゴリ11「販売した製品の使用」	● 出荷量	● 出荷量あたり原単位(環境省DB)
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 物質使用量	● 物質使用量あたり原単位(環境省DB)
カテゴリ13「リース資産(下流)」	● 自販機台数	● 自販機1台あたり電力使用量(メーカーHP)
カテゴリ14「フランチャイズ」	● 該当なし	● 該当なし
カテゴリ15「投資」	● 出資額	● 出資額あたり原単位(環境省DB)
「その他」	● 該当なし	● 該当なし

※ CFPDB :カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム基本データベース

環境省DB :サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース

サッポログループ算定結果概要 サプライチェーン排出量の構成割合

□ 算定結果



サプライチェーンCO₂排出量
総量:580,206トン(スコープ3)

(参考)スコープ1,2,3全体
スコープ1:114,050トン
スコープ2:147,212トン
スコープ3:580,206トン